

教育ビジョンに込める想い

1 誰一人取り残さない教育の推進

- 家庭の経済状況や障がいの有無、国籍等に関わらず、全ての子どもたちが意欲的に学ぶことができるよう、一人ひとりの状況に応じた支援をととして、誰もが質の高い教育を受け、夢や希望を実現できるようにしていく必要があります。
- 本県ではこれまで、発達障がいを含む特別な支援を必要とする子どもたちへの早期からの一貫した支援の推進や特別支援学校の整備に重点的に取り組むとともに、全国と比べても在籍率の高い外国人児童生徒の社会的自立に向けた日本語習得等の支援、就学困難者への学習支援・経済的支援を実施するなど、本県教育の特色とも言える、子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かい教育を展開してきました。
- 今後もこうした取組を継続して推進するとともに、より複雑化・多様化するさまざまな課題にも的確に対応し、全ての子どもたちが安心して学びに向かい、夢や希望を実現していけるよう取り組んでいきます。

2 子どもたちの豊かな未来を創っていく力の育成

- 一人ひとりの子どもたちが、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」を身につけることで、自分のよさや可能性を認識するとともに、他者に対する理解や思いやり・優しさを育み、それらを基礎として、失敗を恐れずさまざまなことに積極的に挑戦し、他者とつながり、協働しながら困難な課題を乗り越えていける力を育んでいけるよう取り組んでいきます。
- 超スマート社会の実現、人生100年時代の到来に伴い社会や生活の有り様が大きく転換する時代を迎えつつある中、これからの教育においては、これまで積み上げてきた三重の教育を大切にしながら、こうした時代を生きていく子どもたち一人ひとりに、持続可能で多様性と包摂力のある社会、誰もが自分らしく参画・活躍できるダイバーシティ社会を実現し、豊かな未来を創っていく力を育んでいく必要があります。

3 「オール三重」による教育の推進

- 子どもたちは、学校・家庭・地域等さまざまな場での学びをととして成長していきます。子どもたちの成長を支え、また、複雑化・多様化している教育的課題に対応していくためには、学校や行政のみならず、全ての県民力を教育へ結集し、社会総がかりで本県教育の推進に取り組んでいくことが不可欠です。
- 行政・学校・教職員は、高い志と使命感を持って子どもたちと向き合い、家庭・地域等との連携・協力に取り組むとともに、こうした連携・協働の基盤となる県民の皆さんから信頼される学校づくりに向け、教職員一人ひとりの資質向上やコンプライアンス意識の確立に取り組みます。

教育ビジョンの実現に向けて

「教育への県民力の結集」の理念の実現に向け、学校、行政の役割、家庭や地域、企業等に期待される役割は次のとおりです。

学校

- ・「自立の力、共生の力」の育成
- ・家庭や地域との連携
- ・信頼される学校づくり

家庭

- ・子どもたちの「心の拠り所」
- ・「教育の原点」として基本的生活習慣等の確立、心身の調和ある発達促進

企業等

- ・専門性を生かし、教育活動に参画
- ・子育て支援の職場づくり、障がい者雇用等

地域

- ・多様な体験・交流の場の提供
- ・学校運営への参画
- ・子育て・家庭教育への支援

行政

- ・質の高い教育の提供
- ・安全・安心で最適な学びの環境整備

詳しい内容につきましては、三重県教育委員会の Web ページをご覧ください、下記までお問い合わせください。

三重県・三重県教育委員会

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL: 059-224-2951
FAX: 059-224-2319
e-mail: kyosei@pref.mie.lg.jp

三重県教育ビジョン

<http://www.pref.mie.lg.jp/KYOIKU/HP/>

QRコード



「みえびい」
三重県教育委員会
マスコットキャラクター

三重県教育ビジョン

子どもたちが豊かな未来を創っていくために

令和2(2020)年度

令和5(2023)年度



令和2年3月

三重県・三重県教育委員会

来るべきこれからの時代において、子どもたち一人ひとりが明日への希望を持ち、それぞれの花を大きく咲かせてほしいという想いを込め、

次の5つの「基本施策」を推進します。

基本
施策

1

子どもの未来の礎となる
「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成

めざす姿 子どもたちが、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」、命を大切にできる心や他者への思いやりなどの「豊かな心」、心身の健康や体力などの「健やかな身体」を育み、自分のよさを認識し、失敗を恐れず夢と志を持って可能性に挑戦していくために必要な力を身につけています。



- 学力の育成
- 外国人児童生徒教育の推進
- 幼児教育の推進
- 人権教育の推進
- 道徳教育の推進
- 読書活動・文化芸術活動の推進
- 体力の向上と学校スポーツの推進
- 健康教育・食育の推進



対話的な学習活動



1 学校 1 運動（長なわとび）

基本施策の数値目標

指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和5年度）
自分には、よいところがあると思う子どもたちの割合	小学生 80.1% 中学生 74.9%	小学生 86.1% 中学生 80.5%

基本
施策

2

個性を生かし他者と協働して未来を創造する力の育成

めざす姿 子どもたちが、急速な技術革新等により変化が激しく予測困難な社会にあっても、変化を前向きに受け止め、社会の一員としての自覚と責任を持ち、自らの感性や創造性を発揮して、他者との絆を大切にしながら、豊かな未来を創っていく力を身につけています。

- 主体的に社会を形成する力の育成（主権者教育、消費者教育、環境教育、地域と連携した課題解決型学習等）
- キャリア教育の充実
- グローカル教育の推進（英語教育、郷土教育等）
- 知識を活用して新たな価値を創り出す力の育成（探究的学習、STEAM教育※1、EdTech※2を活用した教育、プログラミング教育等）

※1：STEAM教育：科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、リベラルアーツ・教養（Arts）、数学（Mathematics）等の学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育。

※2：EdTech：教育におけるAI、ビッグデータ等のさまざまな新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組。



ICTを活用した授業

基本施策の数値目標

指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和5年度）
自立した主体として、社会において権利を行使し責任を果たそうと考える高校生の割合	62.3%	74.3%

基本
施策

3

特別支援教育の推進

めざす姿 障がいのある子どもたちが、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの場において、継続的な指導・支援を受けることにより、自立と社会参画のために必要な力を身につけています。また、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流などをおして、互いに理解を深め、尊重する態度を身につけています。



特別支援学校でのボッチャ大会

施策

- 一人ひとりの学びを支える教育の推進
- 特別支援学校における自立と社会参画に向けた教育の推進

基本施策の数値目標

指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和5年度）
特別支援学校高等部の一般企業就職希望者の就職率	100%（平成30年度）	100%

基本
施策

4

安全で安心な学びの場づくり

めざす姿 子どもたちにいじめや暴力を許さない心や、危険予測・危険回避能力が育まれるとともに、いじめや暴力行為の防止の取組やその解決に向けた組織的な対応、防災対策・防災教育、通学路等の安全対策、不登校児童生徒や教育的に不利な環境にある子どもたちへの支援を進め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境が整っています。

施策

- いじめや暴力のない学校づくり
- 防災教育・防災対策の推進
- 子どもたちの安全・安心の確保
- 不登校児童生徒への支援
- 学びのセーフティネットの構築・学びの継続
- 学校施設の充実



防災マップづくり

基本施策の数値目標

指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和5年度）
学校生活に安心を感じている子どもたちの割合	小学生 92.0% 中学生 96.5% 高校生 88.9%	小学生 95.4% 中学生 98.7% 高校生 92.3%

基本
施策

5

地域との協働と信頼される学校づくり

めざす姿 学校と保護者・地域の方々が、目標やビジョンを共有し、一体となった教育活動が進められ、子どもたちの学びと育ちを地域全体で支える体制が整っています。また、学校の特色化・魅力化が進むことや、教職員が指導力を高め意欲的な指導を実践することで、子どもたちが自分の興味・関心や将来の目標に応じて主体的に学び、豊かな人間性や学ぶ力を身につける教育が行われ、県民の皆さんからの信頼を得ています。



地域と学校との合同清掃

施策

- 地域とともにある学校づくり
- 学校の特色化・魅力化
- 教職員の資質向上とコンプライアンスの推進
- 学校における働き方改革の推進
- 家庭の教育力の向上
- 社会教育の推進と地域の教育力の向上
- 文化財の保存・活用・継承

基本施策の数値目標

指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和5年度）
コミュニティ・スクールに取り組んでいる小中学校の割合	36.3%	50.0%